



自然エネルギー大学特別企画

藻谷浩介氏講演会

十月二十三日、飯田自然エネルギー大学特別企画「藻谷浩介氏講演会」を飯田市鼎公民館で開催しました。

藻谷先生は「エネルギー自立が地域を変える」太陽、森、水と里山資本主義」をテーマに、日本の国際収支の分析から原油や天然ガス、石炭などの輸入のため中東などへ資金が流出している現状を紹介。「エネルギーの地産地消（地元で消費するものは地元で作ら出すという考え）、自然エネルギーの活用がこの現状から抜け出す一歩となる。」とお話して下さいました。



持続可能な安心して暮らせる地域づくりに関心を持ち、参加していくことが大切だと感じた講演会でした。

パネルシター

和田保育園が、月に一度実施する環境活動の日（エコピカデー）に合わせてさんぼちゃんを呼んでくれました。子ども達は、この日の午前中に保育園の太陽光パネルを先生と見学したそうので、子ども達も太陽の力で電気ができることをイメージしやすくなり、お話も一生懸命に聞いてくれました。質問を投げかけると、はいはい！と元気よく手を挙げてくれますが、自分に当たってしまうと恥ずかしくて答えられなくなってしまう…なんともかわいらしい子ども達の姿でした。

十二月一日には、鼎みつば保育園へおじゃましました。町の様子は早くもクリスマス一色。というところで、独立ソーラー（おひさまパワー）でクリスマスツリーの電飾を光らせようという、さんぼちゃんクリスマス公演を企画しました。園長先生からも、「ツリーの電飾は子ども達に身近な『電気』なので、点

灯式を兼ねて行いたい」と賛同していただけて、前日から大きなツリーの飾り付けを進めてくださいました。ツリーが点灯すると、「さんぼちゃんすーいー！」という歓声、手をたたいて喜んでくれる姿があり、子ども達のきらきらした目に心が洗われました。



この子ども達が住む「豊かな環境」を守るには、一人ひとりがきちんと行動していく事…それを大人が導いていかなければならないな、と感じたクリスマス公演でした。

自然エネルギー大学

今年五月に開校した「飯田自然エネルギー大学」は、講義と実地研修を組み合わせた二日間の授業が、月に一回のペースで行われています。二年間のカリキュラムを通じて、自然エネルギー事業を実践するための幅広い専門知識をもつ起業者を育成し、卒業生によって、日本各地で地域主導型の自然

今後の活動・イベント

◆飯田地方の小水力発電遺構ツアー

日時：12月10日（土）
視察場所：中部電力飯田営業所前の水車展示、中部電力松川発電所、松川第一・第三発電所、新川発電所、久米川発電所の各遺構
主催：南信州自然エネルギー普及協議会

◆さんぼちゃんパネルシアター

明星保育園 12月19日（月）15：00～

◆橋北イルミネーションフェスタ

イルミネーション点灯：12月18日～1月6日
クリスマスイベント：12月23日（祝）
16：00～20：00

- ・豚汁・甘酒・コーヒー・ココアの振舞い
- ・おひさま広場「電気自動車でイルミネーション＆ホットなおもてなし♪」
- ・小林敏昭さん 浜井場コーラスで出演♪



授業の風景



エネルギー事業が推進されることを期待しています。県内はもとより、全国各地からバラエティー豊かなメンバーが集結し、各々が描く夢に向かい、熱のこもった授業が繰り広げられています。